

3年生の皆さん、卒業おめでとう。ラストのおたよりです。

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

# 元祖 石川書店

たまに車の中で blue tooth かな

きけること知り、びっくりして

あ、まず、よにせいですね。

第82話 R03.03.01(月)  
『自分だけが満足する音  
では何か足りない。』

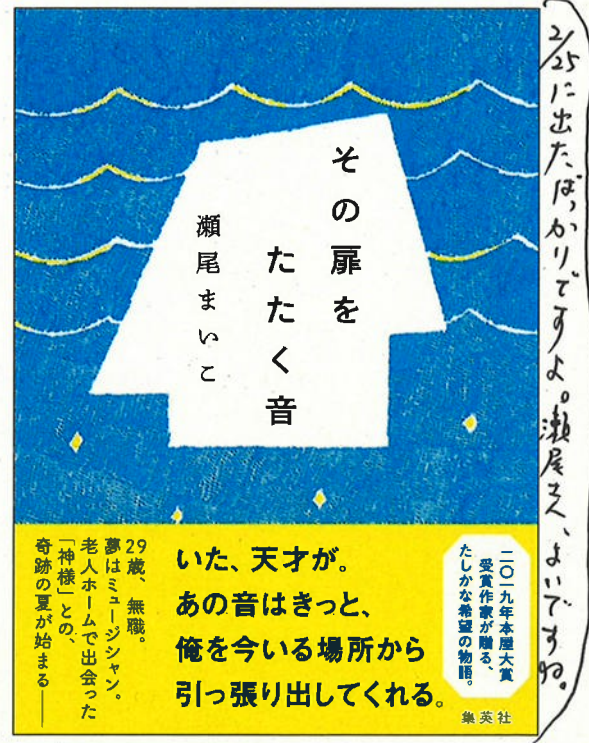
★今回、紹介する本は、『その扉をたたく音』（著/瀬尾まいこ、出版/集英社）。

『そして、バトンは渡された』で本屋大賞を受賞して、前作『夜明けのすべて』がとってもよかった著者の最新作。シンプルな言葉で、そっと心に寄り添う感じがすばらしく、さらりと読めてしまう1冊。

主人公は、ミュージシャンを漠然と夢見ながら何もしない無職の29歳男性。

ある日、老人ホームで演奏したことをきっかけに、すばらしい音色でサクスを奏でる介護職員の青年や入居者の老人との交流が始まりますー。

独りよがりな演奏や思考をしていた主人公が、さまざまな人物とのやりとりをとおして、本当に意義のある生き方について考えていく過程がとってもよいです。感動的な場面も多いですが、ことさらドラマチックに描かないところもすてき。新たな一歩を踏み出すあなたへ。



25に出たばかりですよ。瀬尾まいこです。



時がいふんなことを解決してくれるのは、ちゃんと日常を送っているからですよ。(p.199)

どんな状況の中にも、明日までの先にすてきなことが待っていることを僕たちは知る。(p.169)

立ち上がるのに必要なのは足じゃないぜ。(p.109)